



## おひとりさまでも備えあれば

20年先では、男性の3人に1人、女性の5人に1人が結婚しないと予想されています。ひとりで暮らす場合を考えてみましょう！

**老後に向けての必要な貯蓄額は・・・** 【シングルの30歳女性が90歳まで生きる場合】

①老後に必要な金額 【生活費15万円/月、予備費(冠婚葬祭費等)500万円とする】  
退職後の65歳から25年間で

$$15 \text{万円} \times 12 \text{か月} \times 25 \text{年間} + 500 \text{万円} = \underline{5,000 \text{万円}}$$

②年金見込み額 【月10万円程度の年金を受け取る場合】

退職後の65歳から25年間で

$$10 \text{万円} \times 12 \text{か月} \times 25 \text{年間} = \underline{3,000 \text{万円}}$$

【年金額は、誕生月に送られてくるねんきん定期便を参考にして下さい。】

$$\begin{aligned} \text{③老後に必要な貯蓄額} &= \text{①老後に必要な金額} - \text{②年金見込み額} \\ \underline{2,000 \text{万円}} &= 5,000 \text{万円} - 3,000 \text{万円} \end{aligned}$$

【退職金のある方はそれを含めて計算して下さい。】



**毎月の貯蓄額は・・・** 【30歳から60歳まで貯蓄する場合】

$$\begin{aligned} \text{④毎月の貯蓄額} &= \text{③老後に必要な貯蓄額} \div \text{貯蓄回数} \\ \underline{5.5 \text{万円}} &= 2,000 \text{万円} \div 360 \text{回} (12 \text{か月} \times 30 \text{年間}) \end{aligned}$$

※ あくまでもシミュレーションですので、ご自分の生活に照らし合わせてみて下さい。

『老後資金の準備』として、会社などの天引きの貯蓄が考えられます。また、利率が最低保証され、支払った保険料の総額を下回らない貯蓄性のある生命保険や年金保険は簡単におろせないので選択肢のひとつです。早めの対策が必要でしょう。

『老後の住まい』については、実家に戻るのが難しい単身者は、住宅ローンを背負って家を購入することを考えますが、今後有料老人ホームなど高齢者専用の住宅が増え入居する事も考えられるので、慎重に検討したいものです。

そして、入院・賃貸での入居・ローンを組む際に、保証人を求められ困ることもあります。保証人紹介会社もありますが、トラブルも増えています。日頃から人的なネットワークをつくることが大切です。



LPAは組合員の「暮らしの安心・安全」を守るお手伝いをしています。

【お問い合わせ】 エフコープ 組合員活動部 LPA活動事務局

TEL: 092-947-9003 FAX: 092-947-9192